

KSKR

ワークハウスつうしん

2022.6
No.198

社会福祉法人 京都ワークハウス

就労継続支援 B 型事業所 / 上京ワークハウス
上京ワークハウス 分室 / すてっぴ糸屋
指定特定相談支援事業所 / 上京ワークハウス
グループホーム ショートステイ / あっと・まある
喫茶・ランチ / 手づくり蒸しまん&カフェ まんまん堂
喫茶・軽食 / まんまん堂 cafe 咲あん



by たかや



一九九六年五月一日 第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

- ・後援会総会中止のお知らせ、きょうされん賛助会・後援会入会更新のお願い (2)
- ・藤井さん吉田さんのお別れ会をしました (3)
- ・自治会役員選挙を実施しました (3)
- ・退職する職員よりごあいさつ (4)
- ・ひろがれ募金へのお礼と取り組みのお願い (5)
- ・自主避難訓練を行いました (5)
- ・新任職員よりごあいさつ (5)
- ・国会請願署名の取り組みへのお礼 (6)
- ・夏の物品販売がはじまります (6)
- ・ご寄贈～ご支援ありがとうございます～ (6)
- ・なかまのひとこと (6)

京都ワークハウス後援会総会中止のお知らせ ならびに後援会の入会・更新のお願い

日頃より京都ワークハウスの事業、後援会の活動にご協力いただきありがとうございます。

2022年度も、新型コロナウイルスの終息の目途が立たない中でのスタートとなりました。来る6月は京都ワークハウス後援会総会の時期ですが、後援会員の皆様の安全を第一に、総会の開催を今年も見送ることとし、書面により2021年度活動報告・決算、会計監査、2022年度活動方針・予算、役員選出を提案することといたしました。次号つうしんにおいて、活動まとめ・決算・方針「案」・予算をつうしんで発送させていただきます。

2022年度も、残念ながらたくさんの方々が集う「わくわくフェスタ」「映画会」の行事は一定の準備期間を要するため、中止の方向で進めています。それでもコロナウイルスによる閉塞感を打開する新たな形で工夫を凝らした事業活動を、皆さんの知恵と力を結集し取り組むことを計画しています。総会のまとめ・方針「案」へのご意見・ご質問をいただき、「決定」とする手順を踏みたいと考えています。是非ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。

上京ワークハウス・グループホームあっと・まある(短期入所併設)は感染対策を徹底し運営を継続しています。まんまん堂は店内営業を再開しましたが、喫茶咲あんは休業が続いています。工賃に充てる収入は前年に引き続き、たいへんきびしく大幅減となる見込みです。この困難な時期だからこそ『つながり』、物心両面からのサポートとして京都ワークハウス後援会への入会・更新をお願いする次第です。

大変な時期ではございますが、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

京都ワークハウス後援会 年会費1口 1000円(何口でもけっこうです)

きょうされん賛助会入会・更新のお願い

障害のある人たちが働き生活する権利を保障し、事業所が安定して運営できるよう、きょうされんは様々な運動を広く進めています。上京ワークハウスはきょうされんに加盟し、ともに歩みを進めています。

そのきょうされんを支えるきょうされん賛助会に入会・更新いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。(月刊誌TOMOを配布しています。)

きょうされん賛助会 年会費1口3000円(団体は6000円です)

※後援会・賛助会いずれも同封の振込用紙でお振込み(振り込み手数料:現金でお支払いの場合¥110かかります。通帳からお支払いの場合は無料です)願います。6月中を目途にご入会・ご更新いただけましたら幸いです。よろしく願い申し上げます。ご不明な点等ございましたら、後援会事務局(早矢仕)

(075-432-9757 上京ワークハウス分室すてっぷ糸屋)までご遠慮なくお知らせください。

藤井さん、吉田さん、またお顔見せてください(^~)/

元所長であり、長年仲間のために尽力されたみんな大好き藤井さんと、咲あんやすてっぶの現場でいつも仲間に優しく寄り添って下さった人気者の吉田さんの「送る会」がすてっぶでありました。

みんなからの一言ずつの言葉では、悲しみのあまり外へ猛ダッシュしてしまう仲間や(職員追いかけました!）、思わず涙ぐんでしまう職員も…。そのあとは、ゲームをしたり、1 階班、2階班で歌のプレゼントをしたり、ティータイムをして過ごしました。お 2 人からは「また来るからね」との言葉。仲間・職員とも会えるのを楽しみにしています。本当に今までありがとうございました。



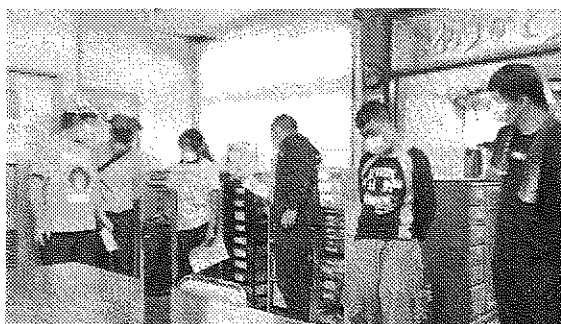
すてっぶの仲間・職員と。

新年度始動です!!

ワークでは 4 月 26 日に自治会役員選挙を行いました。多数の立候補者が集まり、一人ずつ決意表明の言葉を述べていきます。「みんなを引っ張っていきます!」「大きな声で頑張ります!」等々、頼もしい立候補者の皆さん。なかなかの激戦! 惜しくも落選してしまった仲間も役員になられた仲間も、今年もどんどん自治会を盛り上げていきましょう☆



開票の時です ドキドキ!



さあ意気込みを一言ずつ

退職する職員よりごあいさつ

35年の年月を職員として働き、この3月で定年を迎えました。この間、多くの方々力を借り、支えて頂いたことに改めて心より感謝いたします。

作業所に勤務する前は、知的障害者の入所更生施設で8年間勤務し、皆で創りあげていく共同作業所の実践にあこがれの気持ちを抱いていました。縁があり下京区で誕生したワークハウスに、入職しました。当時は無認可共同作業所のため、厳しい労働条件ではありましたが、仲間のパワー、共同作業所を支えようと応援して下さいる方々に、力をもらいやりがいを感じる日々でした。それは、社会福祉法人となった現在も変わらぬ作業所の宝であると思います。

また、仲間や家族の皆さんから多くの事を学ばせられました。出来なかったことが出来るようになり、たくましくなっていく姿、気持ちが上手く伝えられずパニックになり涙するけれど、それを乗り越えていく姿に仲間集団の大切さや、仲間のたくましさに感動しました。家族の皆さんとは色々な問題、課題をともに考え進めることに喜びやりがいを感じさせてもらいました。書き切れない思いが、次々と頭をよぎります。

作業所の職員という立場は退きますが、これからも応援団の一人として関わっていければと思っております。また、障害のある方々の人権がないがしろにされない社会の実現を、目指し微力ながら歩んでいければと思っております。

藤井 嘉子

まんまん堂 café 咲あん開店から仲間たちと深くかかわるようになりました。喫茶の仕事は全く初めてで緊張しましたが「失敗は成功のもとですね」と、仲間から励まされていました。「○○さんは、アッチチーのコーヒー」常連さんの好みも名前もすぐに覚える仲間たち、「いらっしゃいませ」声かけも明るい。「コーヒー豆測りたい」「蒸しまんをバックに入れたい」「次はこんな仕事にチャレンジしたい」意欲的な仲間の姿に嬉しくなりました。

「みんな頑張ってるなあ!」「みんなに会うと元気になるわ」「お皿洗うの丁寧やなあ」常連さんの温かい言葉も力になりました。地域の中で、ほっとくつろげ、集いあうことが楽しい喫茶店となっていたように思います。

コロナ禍の中でカフェは休業、作業所(すてっぷ)で働かせてもらうことになり、ワークハウスの根っこの部分を感じさせてもらいました。

それぞれのペースで仕事に向かうことが保障されていて、ネジ、キャップ付け、箱折り、みんな得意な仕事があり、丁寧さ、スピードなど、私はとてもかかないませんでした。仕事しながらの突然のダンス、楽しかった思い出話(大抵職員の失敗談)に、大笑いすることもよくありました。しんどくなりイライラが爆発してしまう仲間もいます。そんな時仲間たちから「○○さん調子悪いんと違うか」声かけ、思いやる気持ちも優しいです。職員さんの寄り添う声かけに、気持ちが落ち着く仲間の姿もたくさんみてきました。「困ったことがあったら相談する」この言葉もみんなからよく聞きましたし、コロナ禍の中での不安や感情も素直に表現できる関係性、安心しあえる関係性の中笑顔が生まれ前向きな気持ちになれるのだと実感する毎日でした。

送られた色紙には、みんなからの言葉と仲間の顔が重なりとても嬉しく思いました。仲間のTさんが、「いっしょにがんばりましたね」と書いてくれていて、そんな存在でいられたことにも感謝です。いろいろありがとうございました。

吉田 みゆき



左 藤井さん 右 吉田さん

2021年度「ひろがれ夢募金」ありがとうございました！！

京都ワークハウス後援会

一人じゃない、つながる心♥️ コロナから♥️守る コロナでも♥️つながる「ひろがれ夢募金」、2年目の2021年度は、事業を継続するため PCR検査(抗原検査含む)の実施を！目標100万円を目指して取り組みました。

目標を大きく上回り、**延べ165件(団体含む)、総額1,528,010円**(3月31日現在)のたくさんの方々からご協力いただきました。

感染拡大のまん延期、とりわけ1月の第6波では、抗原キットを適時活用しながら、上京ワークハウスやグループホームを継続して運営することができました。ここに深く感謝申し上げます。

今年度も、変異株が次々と出現し、つながりが持ちにくい社会ですが、京都ワークハウス後援会は、仲間たちの夢がひろがり実現する社会になるように、これからも皆様とともに歩みをすすめて参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

“くいかえして実施していくことが大事ですね”～避難訓練～

3月に避難訓練を実施しました。新型コロナウイルスの影響で、自主訓練でした。作業中に地震が起こり、2階の台所で火災が発生する想定で取り組みました。仲間は、「地震です！火事です！」の職員の声掛けに、驚く様子や緊張感がありました。職員の声に耳を傾け、落ち着いて行動することができました。自然災害が増えるなかで、常に危機感を持つことは難しいです。しかし、いざという時に適確に行動移すことができるように避難訓練を積み重ねていきます。



☆新任職員の紹介です☆

4月3週目から水・木曜日で働かせていただいています、

たんばさちこ
丹波佐智子です。今はすてつぷ糸屋で仲間のみなさんや職員さんに教わりながら、奮闘中です！

咲あんが再開しましたらそちらで頑張らせていただきます。

よろしくお願ひします。

これからどうぞ
よろしくお願ひします！



一九九六年五月一日 第三郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

～夏の物品販売 はじめます 2022～

今年もこの季節がやってまいりました！毎年皆様にご協力いただきありがとうございます。

物品販売での収益は、仲間の工賃・ボーナスとなり、仲間・職員一同気合を入れて取り組んでまいります！！

さあさあ！どんなカタログになるのか！？皆様のところへは、カタログとともに仲間の元気な声とパワー溢れる笑顔もお届けしたいと思います。

ぜひ！皆様ふるってご注文
お願いいたします。

またまわりの方へのお声かけもしていただくと嬉しいです。
ご協力よろしくお願ひいたします。



今年どんな品揃えでしょうか！

きょうされん第 45 次 国会請願署名・募金活動の ご協力感謝いたします

今年もきょうされん
第 45 次国会請願署
名運動に取り組みま
した。今年も皆さんの
ご協力で上京ワーク
ハウスでは 2022 年



5 月 13 日現在 1300 筆、募金は 7 万
5950 円となりました。ご家族だけでなくお
知り合いの方にも声をかけていただきコロ
ナ渦ではありましたが、ご協力いただき本当
にありがとうございました。

今後もきょうされんの活動を通じて請願
や要望を行っていきます。きょうされんの活
動にご支援ご協力をどうぞよろしくお願ひ
いたします。



業者への納品時
わたの入った大きい袋を納品です
Nさん「サンタさんみたい!!に私サンタ
さんになります!!」
作業中、同じくNさん
Nさん「OOさんお仕事好きですね。お
仕事はやくとどんどんできあ
がるんです!!」
「マッハですね!!」
仲間に対しても職員に対しても言葉に
迷いなくいつも応援してくれるN
さんです。

なかまのひとこと

ご寄贈 植村様
ご支援ありがとうございます 佐藤浩美様 杉本様

発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階
編集人 社会福祉法人 京都ワークハウス
〒602-8253 京都市上京区黒門通下長者町上る南小大門町 563
TEL (075)451-3004 FAX (075)354-6180
ホームページ <https://www.Kyotoworkhouse.com>

定 価 30 円